

先輩方からの
応援メッセージ

志賀小学校を卒業した先輩方から
150周年記念事業にあたり、
在校生へ向けた応援メッセージをいただきました。
当時の思い出やがんばった話、
壁にぶつかった時の超え方等、貴重な話がいっぱいです。



市議会議員・建築家 **谷 祐治さん**
(昭和60年度卒業)

志賀小学校での思い出

運動会での出来事です。出場したりレーで転んでしまい、靴が脱げてしまったことがあります。その時なぜか、靴を綺麗にそろえ、グラウンドに置いたまま走り出してしまいました。友人から揃えた理由を聞かれて困ったことを覚えています。それ以来、走る前には靴紐を強く結ぶようになりました。今となってはよい思い出です。

壁にぶつかった時の超えかた

「壁」の存在を自覚することが大切と考えています。そのうえで、なぜ、超えなければならないのか、何のために超えるのか。自問自答を繰り返し、超えると決意したならば、覚悟を決めて「壁」の向こう側を目指すようにしています。

思い出のある先生を教えてください

5年・6年で担任をくださった熊尾マサ子先生です。日本の歴史を時代区分ごとにまとめる新聞づくりをほめていただき、毎号、楽しく取り組むことができました。このことがきっかけとなって、世界や日本の歴史に強く関心を持つようになりました。今も歴史から多くのことを学んでいます。

一級建築士 / (公社)日本建築家協会 登録建築家 / (公社)滋賀県建築士会 大津地区委員会 委員長 / (一社)滋賀県建築士事務所協会 副会長
志賀小学校はなぞの会 初代会長 / 大津市議会議員

いつごろ、自分の特技に気づいたか

特技は靴磨きです。革靴を履き始めた頃から道具をそろえ、気分転換をかねて磨いています。

志賀小学校の子どもたちに伝えたいこと

「好きこそもの上手なれ」好きなことに取り組んでいるとき、人は活き活きと輝くことができます。情熱をもって取り組める、夢中になれることをみつけてください。



自由記述

創立150周年おめでとうございます。卒業して40年近くが経過しましたが、今も校歌を斉唱すると清々しい気持ちになります。在校生の皆さんには、校歌で歌われているように、「元気に楽しく」学んでいただきたいと願っております。



総合格闘技選手 **中嶋 紳乃介さん**
(平成17年度卒業)

志賀小学校での思い出

グラウンドに鹿が迷い込んできて、走り回っていました。全校生徒が窓に釘付けになっているなか先生数人が網みたいなものを持って鹿を捕まえようとしていました。警察呼ばんのか！って幼いながら思った記憶があります。

壁にぶつかった時の超えかた

私も過去に何度も壁にぶつかりましたが、その度に自分の弱点と向き合い、克服することで成長できました。壁は、自分を成長させてくれるチャンスだと捉えています。

思い出のある先生を教えてください

小1・3年の担任、いとうくによ先生は、郷ひろみファンでした。先生の前で友達とモノマネを披露して、大爆笑したのが忘れられない思い出です。小6の担任、白井先生は、私たちの自立心を大切にしてくれました。今思えば、子供たちの自主性を尊重し、あえて口出しをしない独特な指導方針。あの時育まれた『自分で考え、行動する』という姿勢は、今の私の根幹を形作っています。

皇子山MMA代表、WOFBバンタム級世界チャンピオン
Catch Wrestling World Championship3位

いつごろ、自分の特技に気づいたか

格闘技に関しては、まだまだ成長過程だと感じています。常に上を目指しているので、自分の限界が分からないのかもしれませんが、ただ、どんな状況でも諦めずに努力を続けられるのは、私の強みだと思っています。

志賀小学校の子どもたちに伝えたいこと

何か迷ったら、たくさんの大人に相談しよう。色々な意見を聞けば、きっと自分だけの答えが見つかる。そして、見つけた答えをまた色々な大人に伝えてみよう。そうすることで、君の考えはもっと磨かれていく！

自由記述

僕は小中高と野球に打ち込み、高校の夏に引退後、格闘技の世界に飛び込みました。将来をすぐに決める必要はありません。今しかできないことを全力で楽しんでください。学生時代の経験は、きっと未来の君を強くしてくれるはずです。





ピアニスト **大槻 夏子** さん
(平成22年度卒業)

志賀小学校での思い出

びわこ池の周りや、運動場の跳びタイヤでたくさん遊んだことをよく覚えています。今思うと少しおてんば娘だったのかも知れません。入学してすぐの頃は、二宮金次郎像が少し怖かったのもいい思い出です。



壁にぶつかった時の超えかた

うまくいかない時や、頑張れない時には、周りにいる人と切磋琢磨することが大事だと思います。ひとりで頑張れる人はすごいですが、私はそうではなかったので、友達と一緒に頑張っていました。友達が活躍している姿を見たら、「自分もやらないと！負けてられない！」という気持ちになって、落ち込んでいた時も頑張れました。

思い出のある先生を教えてください

3年生のときに担任をしてもらった、当時新任の田坂葵先生をととてもよく覚えています。お綺麗な見た目にもかかわらず、とても面白くて熱心だったので、そのクラスはみんなが明るく楽しく過ごすことができました。当時の田坂先生と今の私の年齢が近いので、改めてすごいなと思います。

滋賀県立膳所高等学校、京都市立芸術大学卒業、同大学大学院修士課程修了。第29回滋賀県ピアノコンクール1位、2022年度平和堂芸術奨励賞など多数受賞。現在、演奏活動と後進の指導にあたる。

いっごころ、自分の特技に気づいたか

幼い頃から音楽が好きで、5歳からピアノを習っていました。小学2年生のときに軽い気持ちでコンクールを受けてみたら、年上の方もいる中で銀賞をいただけて、頑張ればもっと上手になれるかもしれないと思いました。それをきっかけに、3年生からはピアノに真剣に向き合うようになりました。

志賀小学校の子どもたちに伝えたいこと

みなさん、たくさん遊んでください！志賀小学校のお友達と仲良く過ごせるのは、とても素敵で素晴らしいことです。その楽しかった思い出が、大人になってからもいろんなことにつながります。勉強は授業中の先生のお話をしっかり聞いて、宿題もちゃんとやっていたら大丈夫！勉強も遊びも一生懸命やってほしいなと思います。

自由記述

楽しいなと思えることをたくさんやってください。得意なことを探すのは難しいけれど、楽しいことや好きなことは何個か思いつくんじゃないでしょうか。勉強やスポーツ、芸術やお笑い、なんだっていいです！「好き」と「楽しい」をたくさん見つけて、家族の人にそれを伝えてあげてください。皆さんの健やかな成長を願っております。



志賀小大好き代表 **榎塚 晏奈** さん / 旧栗山
(平成22年度卒業)

エネルギー会社勤務
居合道4段

志賀小学校での思い出

小学校時代で最も印象深かった出来事は、校外学習で宇佐山古墳の発掘現場を見学したことです。発掘調査中の石棺を目にし、初めて「過去」という時間の存在を実感し、大きな衝撃を受けました。この経験をきっかけに、学内で展示されている瓦にも関心を持ち、小学校が歴史ある土地に建てられていることを改めて認識しました。私の歴史への興味を掻き立てたのは、間違いなく小学生時代のこの体験です。

壁にぶつかった時の超えかた

「絶対に悪い方向には進まない」と確信し、どんな状況にも真っ直ぐ向き合うことを意識しています。忍耐を求められる場面でも、私に起きる出来事で悪い方向に進むものはないと確信し、壁にぶつかったときに逃げないことを心がけています。心が乱れることもありますが、そういう時は誠実に生きる姿勢を改めて意識すれば、いつの間にか状況が好転していると感じます。

思い出のある先生を教えてください

小学6年生の時の担任、西法子先生です。当時生意気盛りの小学生だった私を、子供扱いせず向き合って下さいました。3年半の志賀小での生活で、印象的な出来事が多かった6年生。西先生なくてはあの活気はなかったと思います。

いっごころ、自分の特技に気づいたか

高校時代、放送班の活動を通じて、自分の言葉で物事を伝えることに自信を持てるようになりました。高校2年生のとき、大会に向けて逢坂山にある関蟬丸神社の芸能祭について取材を行いました。神社再興への想いに感銘を受け、その熱意を伝えるために入念に原稿を準備をしました。大会で「想いがよく伝わった」と評価され、自分の言葉で伝えることに自信がつかしました。

志賀小学校の子どもたちに伝えたいこと

志賀小学生の子どもたちには、目の前にあるワクワクすることにとことん挑戦してほしいです。勉強、スポーツ、遊び、食事、種類は問いません。面白い、もっと知りたい、やってみたい！とワクワクする気持ちに素直になって、満足するまで取り組んでみるのが「素敵なおと」になるカギだと思います。





元柔道選手 **遠藤 宏美さん**
(平成17年度卒業)

世界ジュニア優勝 / アジア選手権優勝 / ワールドマスターズ優勝

志賀小学校での思い出

毎年、運動会は楽しみにしていました。特にクラス対抗の1年生から6年生までみんなが力を合わせる応援合戦にワクワクしていたことを覚えています。運動会前になると教えに来てくれた上級生がいつも以上にかっこよく見えました。また、友達とキックベースや心理テストを、少しの時間も惜しんで休み時間に集まり、よく楽しんでいました。

いっご、自分の特技に気づいたか

負けず嫌いの性格で、幼い時から勝負事になると、小さなことでも負けたくないという気持ちは人一倍強かったです。良い面も悪い面もありますが、この性格が競技力向上につながっていたと思います。

壁にぶつかった時の超えかた

常に最終目標は忘れないようにしていました。その目標のためには何をすべきか、一度立ち止まって今の状況を分析、把握することを心がけていました。また、壁にぶつかって心が折れそうになる時は、なぜ頑張りたいのかを思い出すように自分に問いかけていました。

志賀小学校の子どもたちに伝えたいこと

私は4歳から柔道を始め、現役選手として幸いにも28歳まで続けることができました。もし自分の好きなことや得意なことをやめたいと思った時は、もう1度だけ挑戦してみてください。1つのことを長く続けることで知らない世界が見え、価値観が広がり、これからの選択肢が増えることを知ってほしいです。



自由記述

この度は小学校の思い出を振り返る機会をいただきありがとうございます。懐かしく温かい気持ちになることができました。小学校で過ごす6年間は心身共に一番成長する時期だと思います。友達と遊んだり、苦手な教科を勉強したりすることも自分の糧になります。どうぞ自分を信じてたくさんの経験や挑戦をしてほしいです。その過程がきっと未来の自分を支えてくれます。

思い出のある先生を教えてください

石田ゆりこ先生です。1年生の時の担任の先生でした。6歳なりに小学校生活を緊張していましたが、優しく厳しく指導してくださいました。大道芸が得意な先生で、休み時間や放課後いつも教えてもらっていました。



高等学校教諭 **近藤 高代さん**
(昭和61年度卒業)

2004年アテネオリンピック日本代表 (陸上競技 棒高跳)
2004年 当時の日本記録を樹立

志賀小学校での思い出

小学校の思い出、それは、毎日の普通の生活全てが思い出です。もちろん、修学旅行で地引網漁をしたことや、フローティングスクールで「うみのこ」に乗ったことなど行事もたくさん思い出はありますが、毎日、友達と大笑いし、一生懸命に遊び、時々、先生に怒られたりしていた何気ない毎日がとても楽しく、充実していました。

いっご、自分の特技に気づいたか

棒高跳を始めたのは大学生になってからですが、この好奇心旺盛な性格が棒高跳を始めたきっかけとするのであれば、小学生の時から好奇心旺盛だったので、その要素は小学生から持っていたのかもしれない。

壁にぶつかった時の超えかた

壁にぶつかった時ほど自分を試すチャンスだと思います。どんな方法で突破しようか、どんな思考で抜け出そうか、考えて試している時がとても面白いです。その壁を超えた時の嬉しさを想像しながらチャレンジします。

志賀小学校の子どもたちに伝えたいこと

卒業式で証書を授与される際、将来の夢をOHP(現:プロジェクター)で映し出されました。その夢は「陸上選手になること」。まさか本当に実現できるとは思いもしませんでした。『夢は実現するもの!』皆さんも夢や目標をしっかりと持って、チャレンジすることを恐れずに学校生活を過ごして下さい!

思い出のある先生を教えてください

1・2年の担任の関口先生、3・4年生は山中先生・八軒先生、5年生は高橋先生、たくさんの先生方にお世話になりました。多くの素晴らしい先生方のお陰で教師になり、楽しい毎日をごせています。

自由記述

志賀小学校創立150周年おめでとうございます。実家に帰り校舎を目にすると、変わらずあの場所にあることに嬉しく思います。SNSが普及したお陰で小学校の同級生と連絡を取ることができ、数年に一度ですが集まります。卒業してから数十年と経ちますが、あの頃のまま会話をすることができ、楽しい時間を過ごせます。楽しく過ごせるのも、小学生の時にとても楽しく過ごせたからで、そんな素晴らしい時間を過ごさせてくださった先生方には感謝しかありません。これからもたくさんの思い出が溢れる志賀小学校であることを願います。





漫画家 常喜 寝太郎 さん

(平成14年度卒業)

●代表作/次にくるマンガ大賞Webマンガ部門第5位『全部教ってやる』、『着たい服がある』、『不良がネコに助けられてく話』、『隔れ獅子堂賢』 ●受賞歴/ちばてつや賞ヤング部門 準優秀新人賞 ●文化庁メディア芸術祭マンガ部門 審査委員会選出

志賀小学校での思い出

実はあまり人間関係が上手にできず、人との思い出よりも校舎に思い出が多いです。雰囲気のある校舎や遊びの幅も多く、同級生はそれぞれ自主的に遊びを作り出して楽しんでいた印象です。一緒に遊ぶことで社会の勉強になりました。

壁にぶつかった時の超えかた

自分の場合は人に話を聞いてもらう。人に会えることで気分転換にもなるし、話すことで自分も悩みを整理できるからです。それぞれのやり方を見つけてみてください！

思い出のある先生を教えてください

先生も人間なので、相性があると思います。自分の何倍も人生経験してる大人から悩みや相談にアドバイスをもらうことはいいと思います。好きな先生を見つけてみてください。



いっごろ、自分の特技に気づいたか

幼稚園時代、足の指を骨折して休んでいた時に母が絵を教えてくださいました。以降ずっと絵を描き続けています。あとは大人になった今でも僕は人懐っこく、コミュニケーションをとるのが好きです。小学校当時からいつも友達といました。大勢の同級生と接する機会があったからかもしれません。

志賀小学校の子どもたちに伝えたいこと

“好きなもの”を伸ばせば将来必ず役に立ちます。好きなものを見つけて、それを続けること。勉強でもそれ以外でも可能性を広げつつ自分が興味を持てることをたくさん見つけてください。

自由記述

楽しい時間や逆に辛い時間が学校生活にはあると思います。それは良くも悪くも長くは続きません。楽しくするのも自分自身だし、たくさん経験して、挑戦して、ぶつかって学んでいくのが学校だと思っています。その時間を楽しめたら人生はいいものになります！



ピアニスト 青木 弘武 さん

(昭和40年度卒業)

大阪音楽大学卒業後、上京。現在、東京のジャズライブハウスを中心に、全国のライブハウスやコンサートで活躍中。2015年、ポーランドツアー、ニューヨークやロサンゼルス録音のCDもあり、本年は、大隅寿男トリオのピアニストとして上海ジャズフェスティバルにも参加。6月には豪華客船飛鳥2ワールドクルーズにも乗船する。

志賀小学校での思い出

母が元気な頃に一緒に行った、小学校1年生入学式の時、校門に咲いていた桜がそれはそれは美しかった光景を今も覚えています。2年生で父兄参観日、ふと後ろを見ると、中学の制服を着た兄が来てくれていた。その日は両親が仕事で忙しく来れなかった。どうしてお兄さんが来てたん？と言う私の質問に、母は面白い事言った『ひろちゃん、父兄参観の父兄という字は父兄(ちちあに)て書くんやで』て(笑)。

壁にぶつかった時の超えかた

スレート屋根の、スキスキのあの寒い部屋にストーブを置いて、冷えた手を温めて練習し、また冷えたら温めて、の繰り返しの中での練習の毎日でした。顔は大きいのに(笑)、この小さな手。ピアノは中学からなので絶対音感もない、という私でしたが、音大が楽しく、また次々に課題が来て、考える間もなく、続けることで乗り越えてきた。そう、これしか無い、と決めてやり続けることで乗り越えてきたと思います。

思い出のある先生を教えてください

なんとと言っても稲岡昌瑞(漢字合っているかどうか心配)先生。規律正しく、いじめっ子に厳しく、授業は厳格に、音楽、そろばん、野球、と楽しいことにも我々と一緒に楽しんでいただいた。

いっごろ、自分の特技に気づいたか

小学校5・6年生の頃、鼓笛隊でリコーダーを担当し「ガボット」の美しいメロディーを奏でるのが楽しかったのを覚えています。中学2年では brassバンドでユーフォニアムを吹き、音楽の授業で辻村先生の出題される聴音や高度な理論問題も自然と覚えられました。そんなある日、親が学校に呼び出され、「音楽が好きならピアノをやらせてはどうか」と言われたそうです。母に「ほんまにやる気あるか?」と聞かれ、「うん」と即答。家計が厳しい中でピアノを買ってくれました。自宅の2階にある部屋にピアノが届き、私は夢中で練習し、数ヶ月でバイエルを終えました。そして、ユーフォニアムで大阪音楽大学附属音楽高等学校に合格することができました。

志賀小学校の子どもたちに伝えたいこと

小学校卒業の時、担任の先生から全員に、一寸光陰不可軽(一寸の光陰軽んずべからず)と書かれた色紙をいただきました。今も、先生がこれを説明されている光景をはっきりと覚えています。やらなければならない、と言う考え方よりも、やる事はやるんだ、と言う考え方で早く行動に移すこと。あっという間に古希1年生になりましたよ〜。(笑)

自由記述

どうしてピアニストをしているのか、人生に二つの不思議があります。一つは中学2年のとき、母にピアノを買ってもらったこと。もう一つは、大阪音楽大学附属高校に入学後、ユーフォニアムからトロンボーン科に変わったことです。5年間続けたトロンボーンは上達せず悩んでいた頃、ジャズ喫茶でカウント・ベイシー楽団の音楽に出会いました。心地よいリズムに魅了され、ジャズ音楽に没頭する毎日になりました。特にウィントン・ケリーの鼻歌のようなピアノに惹かれ、耳コピで楽譜を起こす日々が始まります。ある日、レッスン前にピアノを弾いていた私に、トロンボーン科の先生が「その道に行きたいのか? 応援するよ」と言ってくださいました。中学時代の辻村先生、大学時代の土橋先生のおかげで、今ピアノで生きているのが本当に不思議で、また感謝しかありません。

今でも「最高の宝物 思い出」

志賀小学校での思い出

教頭で1年、校長で4年の計5年間を過ごしました。本当に充実した年月でした。

子ども達・教職員・地域の方がそれぞれに「素晴らしかった」です。通うことに全くの精神的な苦がない日々で、今でも「最高の宝物 思い出」です。

地域においては子ども見守り隊の故奥村和治様始め、多くの方に大変お世話になり感謝しています。

志賀小学校の子ども達に伝えたいこと

今年は滋賀県で44年ぶりに「国スポ・障スポ」があります。そのキャッチフレーズは「わたSHIGAが輝く・・・」です。全ての人が様々な場面で主役として光り輝き夢や感動を多くの人と共有してほしいと言うことです。

皆さん一人一人に良さがあります。夢と志を持って、『好きで好きでたまらないもの』を見つけ、豊かな人生を送って下さい。

自由記述

私が退職する年は「大津市中学生いじめ事件」で大津が全国からバッシングを受けていました。そんな中でも研修を兼ねて県外から先生方が志賀小への学校訪問が何組かありました。

志賀小学校の子どもたちの一生懸命の学びや清掃する生の姿に触れられ、教職員の真摯な姿勢に学ばれ、「大津にもこんなに素晴らしい学校があるんですね」を土産に帰途されました。子ども・教職員・地域の方の「素晴らしさの」お陰でした。



小野 清司

【在籍期間】

教頭として：平成19年度 (1年)

校長として：平成21年度～24年度 (4年)

「地球とともにある学校づくり」を

創立 150 周年に寄せて

志賀小学校創立 150 周年おめでとうございます。

志賀小学校は、地域に近江神宮があり、百人一首の最初にも歌われているように、「歴史と文化」が根付いた地域にある小学校です。

私は、「地球とともにある学校づくり」をしようと心に決め、地域や保護者の皆様の力を借りながらいろいろなことに取り組みました。

まず、学校を地域に開いて、地域の方々に気軽に学校に足を運んでいただき、学んでいる子ども達の姿を知っていただくことから始めました。楽しそうに学んでいる子ども達の様子を見て下さった地域の方が「子ども達の登下校の安全を見守ろうやないか。」と見守り隊を立ち上げて下さいました。子ども達は、見守りをして下さっている方々とあいさつを交わし、日々のなにげない会話のやりとりを通して地域の方々とふれあう姿が生まれてきました。まさにあいさつが地域の人と子ども達をつなぐ心のかけはしになりました。

そうしたご縁から地域でご活躍の方を講師に招いて子ども達に菊作りや野菜作りなどを教えていただき、学習の中では地域の資料館（手作りの家）にも足を運び、滋賀学区に伝わる話を聞いたり、昔の道具などを見たりして学ばせていただきました。教師には近江大津京の話や地域の遺跡巡りなどをして、地域について学ぶ機会を作っていただきました。

また、志賀小学校で初めて開催されたふれあい文化祭では、作品展や子ども達がダンスなどで出演する機会を設け、保護者や地域の方々と交流を深めることができました。その集大成として地域の方と子ども達によるミュージカルを盛大に催すことができました。

こうした教育活動を進める中、強く感じたのは地域の方々のお力の大きさでした。これらの活動が円滑に進んだのも地域や保護者の方々が常に志賀小学校を大切に思い、子ども達を「地域の宝」として育てこられた風土、歴史があつてこそだと感じているところです。「地域の宝である」子ども達を保護者の皆様・地域の皆様が互いに手を携え、学校教育具現化のために多大なご協力をいただいたことが、今でも私の心に強く刻まれています。同時に皆様のお力が子ども達一人ひとりの笑顔につながっていたと感じております。

最後になりましたが、志賀小学校は、子ども・保護者・地域、そして教職員に愛されている学校です。これからも「地域とともにある学校」として益々発展しますことを、そして志賀小学校に子ども達の元気な声がずっとずっと響きますことを心から願っています。

伊勢田 小夜子

【在籍期間】

教頭として：平成 11 年度～ 13 年度（3 年）

校長として：平成 16 年度～ 21 年度（5 年）



「感無量」感謝しかありません



志賀小学校での思い出

担任をしていた頃、廃寺跡や皇子山古墳で花見をしました。びわ湖池の枝垂れ桜も美しかった。秋は宇佐山の紅葉、近江神宮や皇子が丘公園にも行きました。3階から見るびわ湖の景色、細長い運動場、長い廊下、古い校舎、狭い職員室、見事な卒業制作……。そして、元気な子どもたちがいました。大好きな志賀小です。

志賀小学校の子ども達に伝えたいこと

創立150年、これからも続く歴史の途中です。今、皆さんは「挨拶」「掃除」「聴く」の三校訓で心と体を鍛え、立派な先輩たちの姿に憧れ、後輩たちも頑張っていると思います。伝統は、皆さんが繋いでいます。いつまでも、笑顔あふれる学校、ふと立ち寄りたくなる母校であることを願っています。

自由記述

志賀小学校創立150周年、おめでとうございます。39年の教員生活、14年間は志賀小でした。保護者になった教え子と再会し、そのお子たちに関わる機会にも恵まれました。

退職の時、6年生が私の卒業式をしてくれました。感無量でした。最高の瞬間でした。志賀小学区の皆様には、感謝しかありません。益々の発展を祈念しています。



梅井 俊仁

【在籍期間】

教諭として：平成元年度～平成9年度（9年）

校長として：令和元年度～令和5年度（5年）

「ゆっくり歩こう」

志賀小学校での思い出

志賀小学校創立 150 周年誠におめでとうございます。私は 50 年前、志賀小学校へ新任教員として赴任し、当時の 5 年生の子ども達を担任させて頂きました。ちょうど志賀小学校 100 周年記念の節目の歳でした。それから 50 年の月日が流れ、当時 10 歳の 5 年生の子ども達は、現在還暦のお祝いの歳を迎えておられます。

私は 5 年生、6 年生の 2 年間を一生懸命子ども達と過ごし、教職 2 年目にして担任した子ども達の「卒業」を経験する機会を与えて頂きました。私が子ども達と頑張れたことは保護者の皆様が寛大なるやさしさで見守っていただけたお陰だと感謝しております。

志賀小学校の子ども達に伝えたいこと

私は 5 年生と 6 年生の皆さんに『ゆっくり歩こう』という言葉を送ります。小学校の高学年になる皆さんには、これからいろいろな出会いがいっぱいあります。

そんな時には、ゆっくと新しい世界やいろいろな出会いを楽しみながら、自分の夢に向かって、いくつもの道の中から自分の進む次の扉を見つけて歩んでください。

そして、時々立ち止まって周りの声に耳を傾け、今何が大事なのか、今何をしなければならないのかを考え、自分を大切に行動してください。

決して大人になり急ぐことなく、常に自分を見つめながら、ゆっくと、ゆっくと。

自由記述

私が担任した教え子達にできたことは、小学校生活の記録を写真に撮り続けてきたことです。運動会、学習発表会、修学旅行、遠足などの学校行事だけでなく、学校生活の一部始終の出来事、給食時間の様子、図工の作品作り、お楽しみ会なども写真に収め、教室の掲示板の一角に掲示しました。参観日には保護者の皆さんにも見て頂き、個別懇談会にはフェルアルバムに収めて順番待ちの時間に見ていただき大変喜んで頂きました。

私自身の小学校時代の写真は僅か数枚でしたが、その写真を見ると今でも当時の思い出が鮮明に蘇ってきます。そんな訳で、私は教え子達の写真を退職するまで撮り続けることができました。退職後もアマチュアカメラマンとして地域活動をしております。

今も尚、還暦を迎えた教え子達から 50 年前の志賀小学校での学校生活の話をよく聞かせてもらいます。当時の写真には、仲間のやさしさや思いやりがにじみ出ていると聞かされます。最近私は物忘れが激しく、50 年前の記憶がだんだんと消えつつありますが、心の隅でたいへん嬉しく思っております。『志賀小の皆さん、ありがとう!!』



川越 久聖

【在籍期間】

教諭として：昭和 50 年度～昭和 52 年度（3 年）